

事務事業 No./名称	■サービス部門 消防-02 □支援部門		行事開催事業				
主管課	消防総務課	関連課					
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	開かれた消防を目指します。						
人口等の データ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
事業の対象者数							
運営資源 状況	決算値(千円)	194	206	175			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	194	206	175			
	人員配置数	0.3	0.3	0.3			
	人件費(千円)	2,904	2,787	2,817			
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	3,098	2,993	2,992			
	市民1人当 りの経費(円)	17	17	17			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
消防出初式	◎	目標値	○	○	○	○	
		実績値	○	◎			

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。											
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。											
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止											
行事開催事業	194千円	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○	⇒	■A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要	市内各自治会、企業等に消防出初式への参加を通じ、防火防災意識を高める。													
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														
		①効率性		②妥当性		③有効性		④公平性		⇒	□A	□B	□C	□D	□E
	事業の概要														

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)	
H22年度の課題	通常業務と同時進行しながらの行事開催には、限界があるが、少しでも市民が消防の仕事を理解しやすいよう工夫しながらアピールする。
課題解決のための取組	市民が消防の仕事を理解しやすいように、演技内容や演技位置を変更、さらに市民席のレイアウトを変更するなど、より見易いように工夫した。
未解決の課題	開催場所の確保について、今後場所の確保ができない場合の対応策について協議する必要がある。
今後の方針	今後もさらに工夫を凝らし、市民に親しみやすい行事開催を目指して行きます。
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止 ⇒ A ※ □事業完了 課長名 柿崎 雅之

